

# 図書委員会からのおすすめの本

本好きのための 本好きに捧ぐ本



## 1冊目 『流浪の月』

11月22日(月)放送分

まず、1冊目は 読んだ後に本の意味を調べたくなる本です。

その本は風良ゆう作 『流浪の月』です。この本は本屋大賞にもなっています。

穏やかで幸せな生活に入った日々。主人公の更紗は父親は病で亡くし、母親は家を出て親戚の家で育てられた女の子です。

ある日の放課後 友達と公園で遊んでいると向かいのベンチに若い男性が。

更紗の人生はこの男 文と関わったことで周りに迷惑をかけながらも、自分の幸せを自分でつかもうとしている本です。

ストーリーが入ってきやすく くせになる表現やフレーズでつい覚いだして中毒性のある本です。読んだ後、ぜひタイトルの意味を調べてみてください。

また この本は来年 映画にもなりますので 原作を読んでから 映画を見るのもいいかもしれません。



# 図書委員会からのおすすめの本

本好きのための 本好きに捧ぐ本

2冊目 『世界で一番素敵な神話の教室』

11月22日(月)放送分

蔵持不三也監修の『世界で一番素敵な神話の教室』です。

ギリシャ神話から中国神話までの神話に対する疑問が短く簡潔に書かれていて、写真がページの大部分をしめているので読みやすくなっています。

私の中でも最終戦争が起こる場面が好きです。さけてはとおれない道を最後は受け止める場面が心に残ります。

どうして神話の本を選んだかというと私が小さい頃から昔話や神話が好きだったからです。

興味のあるかたはぜひ読んでみてください